

平成28年度無償資金協力「経済社会開発計画（アスファルト供与）」引渡式

10月30日、西マシヨナランド州チノイ市内で平成28年度無償資金協力「経済社会開発計画（アスファルト供与）」の引渡式が行われ、岩藤大使の他、グンボ・運輸・インフラ開発大臣、シヤム・西マシヨナランド州担当大臣、マダナ運輸・インフラ開発副大臣、マヌンゴ財務・経済開発省次官、チェンガ外務省アフリカ・アジア大洋州局次長、その他運輸・インフラ開発省職員、財務・経済開発省職員、地域住民等、計150名以上が出席しました。

本支援は、2016年3月にムガベ大統領が訪日した際に安倍総理との間で署名した「共同声明」の中で約束されたもので、当国に対し道路補修資材を供与し、当国全土の道路を修復するものです。このたびの支援総額は6億円で、4,744.74トンのビチュメン、1,164.84トンのカットバック・ビチュメン、そして1,446.56トンのカチオン乳剤を供与しました。

ジンバブエでは、2016年末から2017年始めにかけて大雨や洪水等により道路インフラに大きな被害を受けており、このたびの支援で、当国の500km以上の道が修復されることになります。

質の高いインフラへの支援は、2016年にナイロビで行われたTICADV Iで発出されたナイロビ宣言でも優先分野の一つとして提示されました。ナイロビ宣言では、アフリカ大陸内の連結性が強調され、質の高いインフラは人々や人と経済を結びつけ、アフリカの発展につながる事が確認されました。岩藤大使は、引渡式のスピーチで、このたびの日本の支援で、ジンバブエの人々、そして人と経済の連結性が高まることを期待すると述べました。



岩藤大使、グンボ・運輸・インフラ開発大臣、シヤム・西マシヨナランド州担当大臣と一緒に道路修復資材のリボンカットを行いました。



岩藤大使のスピーチ



グンボ・運輸・インフラ開発大臣のスピーチ



式典に出席した地元住民



グンボ大臣と岩藤大使